



2018年8月22日「奥浅草だより」第11号

玉姫公園の山谷夏祭り

山谷のシンボル 玉姫公園は、760年創建の玉姫稲荷神社の地続きにある台東区の公園です。旧山谷労働センターの近くにあるので、かつては山谷騒動の拠点になっていました。その名残でいまも公園内は、網を張り巡らしたエリアとホームレスのテントとのせめぎ合いが続いています。しかし8月には毎年、夏祭りのためにグラウンドを解放しています。

祭りの日程 2018年の山谷夏祭りは、8月4日（土）・5日（日）と、8月13日（月）-15日（水）に開かれました。まず山谷で亡くなった日雇労働者の皆さんの写真を掲げ、霊を弔う焼香台を整え、読経と讚美歌が捧げられました。仏教と基督教の合同慰霊祭はめったにないでしょう。

祭りのメニュー メインの行事は両者とも炊き出しと屋台、そしてカラオケ大会、続いてステージ演奏です。時間は、夕方の5時から始まり、7-8時まで、そして後片付けとなります。今年は特別の猛暑でしたが、夕刻になるとさすがに涼風が吹き、暑さを忘れることができました。この夏祭りは山谷地区の長年の行事となっていて、見物参加も歓迎されます。

山谷対策室 屋台で売られる缶ビールのおつまみは、キュウリやトマトが人気です。炊き出しは炭水化物が主だからでしょう。主役が日雇労働者やドヤ街居住者であるため、圧倒的に男性中心。女性のサポーターを増やすにはどうしたらいいでしょうか。音曲が昭和戦前期中心とはいかにも古い。日雇労働者の職よこせ運動と東京都山谷対策室とのやりとりの寸劇はユニークでした。働く能力が少しでもある人は、生活保護より仕事を望んでいるのです。

~~~~~  
この「浅草だより」は『奥浅草だより 地図から消えた吉原と浅草』の発行後、話題を拾って不定期に発行しております。

サノックスのホームページからもご覧になれます。 <http://www.sanox.co.jp>

佐野陽子・江原晴郎・森下恒子